

陰山メソッド 百ます計算&漢字力だめし

陰山英男先生が提唱する学力向上のためのトレーニング、「百ます計算」と「漢字力だめし」のサンプルを用意しました。ぜひ、挑戦してみてください。

《百ます計算》

■やり方

縦のます目と横のます目の交わるところに、計算の答えを書いてください。
計算は横一列に進めていってください。

■使い方

計算をするときは、必ずタイムを計ってください。

計算力を上げるため、2週間同じ問題を続けることをお勧めします。

慣れていない人は1日目のタイムを2週間で半分に縮めることを、慣れている人は2分以内（割り算100の場合は5分以内）を目標にしてください。

見直しは必要ありませんが、答え合わせをきちんと行い、間違いやすいところを見つけてください。

1、2年生では、タイムを早くするより、答えを間違えないようにします。

3～6年生の場合、最初の1週間はタイムより答えを間違えないように気をつけ、次の1週間でタイムをちぢめるようにします。

《漢字力だめし》

■使い方

まず、自分の学年より下の学年からやっていきます。

『とめ・はね・はらい』をしっかりと意識し、丁寧に書いていきます。

学年が上のものでも書けそうな漢字があれば、どんどん書いてみましょう。

(基本的には、現在の学年までの漢字が書ければ大丈夫です)

じっくり考えてもわからなくなったら、答えあわせをします。

間違えた漢字は何度も繰り返し書いて覚えます。書いている漢字を声に出しながら練習するとお良いでしょう。

また、漢字や熟語の意味をしっかりと理解することや、正しい書き順で書くことが大変重要となってきます。もしこれらが分からない場合、必ず辞書で調べましょう。